

# 開催レポート

## 国指定重要無形民俗文化財 住吉大社 御田植神事 (2024年6月14日/住吉大社)

◆協賛：公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

住吉大社の御田植神事は、神功皇后摂政11(211)年、神功皇后が住吉大社に鎮座された際、住吉大神にお供えする神田を定め、長門国(現在の山口県)から植女を呼び寄せて御田植の奉仕をさせたことが始まりといわれています。神事は明治時代に廃絶の危機に瀕しますが、大阪新町廓が御田を買い上げて住吉大社へ寄進したことで窮地を救われ、今日まで大切に受け継がれています。昭和54(1979)年には、国の重要無形民俗文化財に指定されました。

今年は多くの外国人観光客も訪れ、日本の三大田植祭の

筆頭とされる伝統的な装束や神聖な儀式に魅了されていました。

関西・大阪21世紀協会は、大阪の誇るべき伝統文化・神事芸術としてこれを支援しています。



田舞(たまい)(八乙女舞<やおとめまい>)を舞う巫女と御田植奉仕をする人たち

楽しむ  
学ぶ

### 語り合う インフォメーション



## art bridge®

もっと身近にインクルーシブアート

詳しくは  
WEBサイトで▶



### ザ・シンフォニーホールに『art bridge』の作品が登場

今年5月から、ザ・シンフォニーホール(大阪市北区)の1階席後方ロビーと2階席東側サイドロビーで、『art bridge』のインクルーシブアート作品11点を展示しています。

『art bridge』は、関西・大阪21世紀協会が進めるプロジェクトで、障がいのある方を中心とする多様な背景を持つアーティストの力のあるアート作品を貸し出し、その多様な感性に触れて理解を深めてもらうことを目的としています。本展示は、ザ・シンフォニーホール様にご賛同いただき実現しました。

ザ・シンフォニーホールにお越しの際には、多様な背景を持つアーティストの魅力あふれる作品も併せてお楽しみください。

## 日本万国博覧会記念公園シンポジウム2024 「協働・共創の万博をめざして」

過去3回のシンポジウムの成果が、2025年大阪・関西万博にどう生かされつつあるのか、開催まで半年をきった状況で具体的な報告をいただきます。パネルディスカッションでは、同万博の開催テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を中心に、万博とその先の未来について討論します。

**日時**：2024年10月26日(土) 13時30分～16時30分(開場13時)  
**会場**：国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール(講堂)  
**会場参加**：定員350名(要事前申込・先着順/2024年10月18日まで受付)  
※千里文化財団のホームページでオンライン配信あり(申込不要)。  
**参加費**：無料  
**受付・詳細**：[https://www.senri-f.or.jp/expo\\_symposium2024/](https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2024/)  
**お問合せ**：公益財団法人千里文化財団  
TEL:06-6877-8893(土日祝を除く9時～17時)



**主催**：公益財団法人千里文化財団  
**共催**：大阪府、国立民族学博物館  
**協力**：公益財団法人関西・大阪21世紀協会 他

**登壇者** 中島 さち子 (株式会社steAm代表取締役、2025年大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー)、堂目 卓生 (大阪大学総長補佐、社会ソリューションイニシアティブ長)、佐野 真由子 (京都大学大学院教授)、吉田 憲司 (国立民族学博物館長)

関西・大阪21世紀協会賛助会員  
入会のお祝い

関西・大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口からでも結構です)

■法人会員1口につき年会費10万円  
■個人会員1口につき年会費1万円

特典

1. 協会が発行する刊物の配布  
2. 協会が主催する各種セミナーなどへの案内  
3. 賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問合せ (公財)関西・大阪21世紀協会 総務部(TEL.06-7507-2001)